

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	3010404	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	学校運営補助金等事業	担当部署名	教育課		
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線	650
第4次総合計画 体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	03教育・歴史・伝統	01学校教育の推進	04教育施設等の整備・教育環境の充実		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 学校運営の円滑な実施、総合的な学習の時間にかかる教材消耗品、講師謝礼補助、人権教育研究会参加者補助、生徒の自発的な活動を教師が指導支援することにより部活動の活性化を図る、生徒の健全な成長を支援する活動の実施、多様化・広域化する進路選択を円滑にするための資料の提供と将来の生き方を考え、個に応じた進路を選択するための支援を行う。</p> <p>②内容 学校運営費補助金、総合的な学習補助金、人権教育研究会参加補助金・部活動補助金、生徒指導補助金、進路指導補助金</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか)</p> <p>小・中学校</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)</p> <p>学習環境づくりの向上</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題</p> <p>学校ごとに独自性を出した事業の発展を図る必要がある。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	1,397	1,420	1,404	1,420	1,420			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	1,397	1,420	1,404	1,420	1,420			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	277	295	295	295	295		
総コスト費(千円)(A+C)	1,674	1,715	1,699	1,715	1,715			
人口あたりコスト(円)	276	283	280	283	283			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

(1/2)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	学習環境の向上を進めることができた。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	学習環境の向上が図られた。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	限られた予算の中で工夫を凝らし、学習環境づくりを進めた。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	すべての児童、生徒に対して利用されており公平である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	16	/16	100%	(B)
-------------------------	----	-----	------	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	100%	#DIV/0!	a
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
学習環境づくりの向上のため必要であり、引き続き実施する。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
学習環境づくりの向上のため、引き続き実施する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(3)行政経営戦略会議結果	
学習環境づくりの向上のため、引き続き実施する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止